

各位

全3ページ  
登録速報(2023-106)  
2023年 3月22日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部 普及課

## 登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

適用拡大登録年月日：2023年3月22日

### 記

#### 1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第23841号

名称：バズ顆粒水和剤

#### 2. 変更の内容

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」中、以下を変更し、別紙1【変更後】のとおりとする。

- ・作物名「稲(箱育苗)」の適用病害虫名「イナゴ類」および「イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、フタオビコヤガ」に希釈倍数「高密度には種する場合は10g/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り0.5~1g(希釈倍数500~1000倍))」を追加する。
- ・希釈倍数欄を希釈倍数又は使用量に変更する。

#### 3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生じるときは、その旨及び内容 農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」に、1)、2)、3)を追加し、以降を繰り下げ、別紙2【変更後】のとおりとする。

##### 【追加】

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に灌注すること。
- 3) 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が10g/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を0.5から1gまでの範囲で調整すること。

7. 適用病害虫の範囲及び使用方法  
【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シアントラニ リプロールを 含む農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	イナゴ類	1000 倍  <u>高密度には種する 場合は 10g/10a(育 苗箱 (30×60× 3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 0.5～ 1g(希釈倍数 500～ 1000 倍) )</u>	育苗箱 (30×60 ×3cm、 使用土壌 約 5L) 1 箱当り 0.5L	移植当日	1 回	灌注	1 回
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ	1000 倍  <u>高密度には種する 場合は 10g/10a(育 苗箱 (30×60× 3cm、 使用土壌約 5L) 1 箱当り 0.5～ 1g(希釈倍数 500～ 1000 倍) )</u>		は種時 (覆土前) ～ 移植当日			
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	2000 倍	育苗箱 (30×60 ×3cm、 使用土壌 約 5L) 1 箱当り 1L	は種時 (覆土前)			

## 別紙 2

### 8. 使用上の注意事項

#### 【変更後】

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 育苗箱の上から所定量の希釈薬液を均一に灌注すること。
- 3) 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が10g/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を0.5から1gまでの範囲で調整すること。
- 4) 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- 5) 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意すること。
- 6) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上